

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	商工観光課
課名	商工観光課

予算	款	項	目	決算書
	5	1	1	140頁

目名
労働諸費

事務事業名称
雇用団体等助成事業

1. 概要

目的	高齢者、若年者等、誰もが安心して働けるように雇用の場を拡大する	対象	高齢者、若者等
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域雇用創造推進事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊後大野市雇用創造協議会負担金</li> </ul> </li>   <li>○雇用団体等助成事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体補助金・・・豊肥地域シルバー人材センター補助金 豊後大野地区労働者福祉協議会補助金</li> <li>・団体負担金・・・大分県シルバー人材センター連合会負担金 大分県総合雇用推進協議会負担金</li> </ul> </li> </ul>		

臨／経	事業名	事業内容(主な経費等)		予算現額(千円)	決算額(千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	地域雇用創造推進事業	豊後大野市雇用創造協議会負担金	負担金補助及び交付金	3,870	3,846				3,846	1
経常	雇用労政事業	豊肥地域シルバー人材センター補助金	負担金補助及び交付金	15,117	15,117			6,728	8,389	2
計				18,987	18,963	0	0	6,728	12,235	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	就業人口	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	22,000人			雇用の確保・創造は、地域活性化に向けた基本的な政策であるため			
活動指標	指標	a	シルバー会員数	b	新卒者の就職者数	c		d
	数値	目標	600人	目標	30人	目標		目標

## 3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H21	H22	H23
就業人口	人	20,317 人	20,317 人	20,317 人
		92.4 %	92.4 %	92.4 %

活動指標名	単位	H21	H22	H23
a シルバー会員数	人	580 人	588 人	564 人
		96.6 %	98.0 %	94.0 %
b 新卒者の就職者数	人	15 人	25 人	38 人
		50.0 %	83.3 %	126.7 %
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
若者を中心とした雇用が不足している
対応（改善点等）
雇用創造推進事業に取り組んでいる

## 5. 事業費・・・H21～H23（決算額）、H24（予算現額）

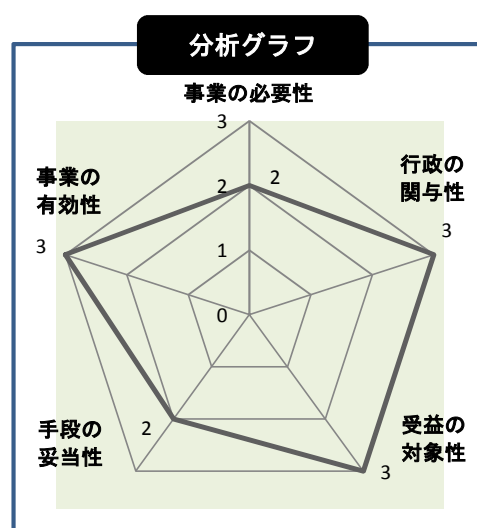
決算額（千円）		H21	H22	H23	H24
		16,219	17,032	18,963	20,443
うち経常経費		16,219	16,231	15,117	13,637
財源内訳	国費				
	県費		801		
	市債				
	その他	7,226	7,226	6,728	6,022
	一般財源	8,993	9,005	12,235	14,421
うち経常		8,992	9,005	8,389	7,615
事業費に係る人件費		384	4,818	2,580	4,723

## 6. H25年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
シルバー人材センターをはじめとする団体への補助金、負担金は減額の方である。ただし、雇用創造事業は、国の補助事業としてサンセット方式（H23～H25）で実施するものであり、事業量の増加が見込まれる。

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	2 主に若者に対して必要性が高いが、シルバー人材センター等団体については国等の動向により見直すべき
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 雇用の確保・創造は、これまで国・県に依存してきたが、市町村において最も重要な分野の一つであるため、深く関与すべき
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 生産年齢人口が対象である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 雇用状況を分析するための新たな指標が必要である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標に対する達成率が高く、有効性が高い



## 8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金交付要綱を順守し取組むこと